

# うわじま うしおに



July, 2022

No.45

## 「新病院事業管理者と新病院長の就任ごあいさつ」

### 地域の最後の砦を担う

宇和島市病院事業管理者 <sup>かじわら</sup> 梶原 <sup>しんすけ</sup> 伸介

本年4月1日より市川前管理者の後任として私、梶原伸介が管理者に就任いたしました。これまで外科手術を中心に、当地域の医療レベルの向上に少しでもお役に立てればと思い、全身、全霊を傾けてまい進してきましたが、一応外科医は卒業し、3病院(市立宇和島・吉田・津島病院)、2老健(老人保健施設オレンジ荘、ふれあい荘)の施設を管理する立場となりました。

今まで12年間、ある程度管理部門にも携わってきましたが、市川前管理者が最終決定者としてバックアップしていただいていたので、安心して職務を遂行できていた面がありました。しかしながら、今後はそうもいかず、最終責任者としての責任の重さを感じているところです。

3年にもわたるコロナ禍で、病院への受診控えが起きている中、また当地域の人口減少を考えると、今後の病院運営は決して簡単には行かないと思います。しかし、我々はこの地域の最後の砦を担っているのだ、この地域の人たちにとってなくてはならないものだと思いを持ち、今後の管理者としての任務を担ってまいりたいと思います。皆さまどうぞご協力よろしくお願いいたします。



### 質の高い診療体制を

市立宇和島病院院長 <sup>ぜんけ</sup> 善家 <sup>きいちろう</sup> 喜一郎

私は1960年に旧三間町(現宇和島市)に生まれ、宇和島高等学校、愛媛大学医学部を卒業し、1997年から脳神経外科医として当院に勤務しています。そしてこの度、1910年に開設され、当圏域の医療を綿々と支えてきた市立宇和島病院の第17代の院長に就任いたしました。

第一に当院が掲げる5つの理念、「信頼される病院」「思いやりのある病院」「やすらぎのある病院」「進化し続ける病院」「地域になくてはならない病院」を念頭に病院の運営を行ってまいります。また、当院が担うべき役割を示すものとして、「災害拠点病院」「臨床研修病院」「がん診療連携拠点病院」「感染症指定医療機関(結核・第二種感染症)」「地域周産期母子医療センター」「南予救命救急センター」「腎臓移植施設」「へき地医療拠点病院」「エイズ基幹診療協力病院」「肝疾患専門医療機関」「高次脳機能障害相談支援協力機関」「DMAT指定病院」「地域医療支援病院」などの施設に認定されています。これらの機能を果たすのみではなく、当圏域のほとんどの患者さんが質の高い十分な診療を受けることが出来るように体制の維持・改善に努めていきます。

人口減少やスタッフの確保の問題など、地方の公立病院を取り巻く環境はますます厳しくなっていくと思われます。病院の維持・発展のために、皆様の絶大なご支援とご協力をお願いして就任のあいさついたします。



## 「患者さまを中心に、地域とつながり、いのちを支える医療を提供しつづけることをめざします」

### 市立宇和島病院の病院理念

患者さま中心の医療を基本として

- 一、信頼される病院
- 一、思いやりのある病院
- 一、やすらぎのある病院
- 一、進化しつづける病院
- 一、地域になくてはならない病院をつくります。

### 市立宇和島病院の基本方針

1. いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
2. 患者さまの権利を尊重し、愛情と対話をもってあたたかい医療を提供する病院をめざします。
3. 快適な医療環境をととのえ、明るくうまいのある病院をめざします。
4. 高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
5. 医療・保健・福祉との連携を深め、地域で完結する医療に貢献する病院をめざします。

### 患者さまの権利

1. 良質で適切な医療を平等に受けることができます。
2. 自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
3. 医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
4. 主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
5. 自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めることができます。
6. 個人情報及びプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
7. 患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
8. 病院に対し種々の提言をすることができます。



## 病院機能評価の認定を受けて

病院機能評価受審統括 院長 善家 喜一郎

市立宇和島病院スタッフの皆さん、おめでとうございます。

2022年1月20日、21日に受審した病院機能評価に無事合格することができました。多忙の中、皆さんが一致協力して準備をいただいた結果と、感謝申し上げます。

コロナ感染症の影響で1年延期されての受審でした。しかし、次々と変異し感染力を増してくるウイルスのため、コロナ感染症が治まらない時期で一段と感染対策に気を配りながらの受審となりました。

今回は4回目の受審でした。回数を重ねるごとに対応が必要な事項は減少しており、病院機能評価を受けることによってレベルアップできていることも多いと感じます。残念な点としては、体制や文書は整っているのに、周知が不十分なためにそれらが十分に活用されていないことが見受けられました。また、今回も、いくつかの改善点のアドバイスがありました。参考にして、より良い病院になるよう取り組んで頂きますようお願いいたします。

次回は、1年早く4年後の受審です。準備が大変にならないように、変更事項等があった場合には、適宜マニュアル等への反映などの対応をお願いします。



## 病院機能評価とは

医療を見つめる第三者の目。それが病院機能評価です。

病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。評価調査者が中立・公平な立場にたって、所定の評価項目に沿って病院の活動状況を評価します。評価の結果明らかになった課題に対し、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上が図られます。

認定病院は、より良い病院作りを目指して成長し続ける病院です。

審査の結果、一定の水準を満たしていると認められた病院が「認定病院」です。すなわち認定病院は、地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると言えます。

### 評価結果

当院の評価結果の詳細は、公益財団法人日本医療評価機構のHPで公開されています。



## シリーズ 看護部だより

南予救命救急センター ICU クリティカルケア特定認定看護師 松尾 良



## クリティカルケア分野で地域の医療に貢献する

当院は救命救急センターを併設しており、県内に4つある三次救急医療施設の一つです。三次救急は、主に急性心筋梗塞、脳卒中、多発外傷といった生命の危機的状況（＝クリティカルな状況）にある患者さまを対象としています。そのため私たち看護師は「南予地域における救急医療の最後の砦である」との自覚を持ち、医療チームの一員として水準の高いケアを提供できるよう、日々研鑽を積んでいます。

院内には様々な専門分野の知識・技術を持つ看護師が在籍していますが、私の場合は930時間以上のカリキュラムを修了し、2021年11月に「クリティカルケア特定認定看護師」として登録されました。私たちにとって患者さまの命を救うことは最も重要な目標の一つです。そして、退院後の生活の質にも目を向けた多角的な介入が救命と同じく非常に重要であると考えており、患者さまがICUへ入室されると同時にその点を意識してケアを開始しています。

これからも認定看護師の立場で多職種と連携しながら、患者さまとご家族を支えられるよう、引き続き努めてまいります。



## シリーズ 各科紹介 血液内科

血液内科主任科長兼外来化学療法室長 鹿田 久治

血液内科では主に血液疾患、膠原病、感染症の診療を担当しております。わが国では造血器腫瘍の3大疾患である白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫いずれも、罹患数や死亡数が増加傾向にあります。しかし、近年それぞれに対する治療薬が盛んに開発されてきており、治療成績が向上しております。

当科では、同種造血幹細胞移植やCAR-T細胞療法等の一部の施設で行われている治療法を除いて、最新の薬剤を含めた全ての治療薬を取り入れ、患者さまの治療に貢献できるよう励んでおります。また、初診の患者さまには十分に時間をかけて説明を行い、それぞれの患者さまの背景を考慮した上で、適切な治療法を提示するよう心がけております。

膠原病領域では、全身性エリテマトーデスや血管炎をはじめとする、全身の臓器を構成する細胞に異常な免疫反応が生じることで炎症がおきる疾患を扱っております。ステロイドや免疫抑制剤と呼ばれる薬剤で治療を行います。一方、今年度限定ではありますが、川崎医大リウマチ・膠原病科出身の澤近弘先生に加わっていただき、関節エコーを用いた診断法を導入しました。澤近先生は来年愛南町で開業予定ですが、その後も互いに連携を取ることで質の高い医療を提供できるよう励みます。

感染症領域では、主にマダニの感染症や新型コロナウイルス感染（COVID-19）の加療を行っております。COVID-19に関しては、南予地区の医療機関と連携を取り、自宅療養中の患者さまの状態を共有できる体制が整っております。また、入院が必要な患者さまには最新のガイドラインに基づいた治療を行っております。



左から澤近弘、鹿田久治、金子政彦、増田侑也、藤尾公貴

## 研修医の紹介



### ■高崎 徹哉 研修医(2年次)

1年目に学んだことを後輩に伝えつつも、自分に足りない部分を勉強して、忙しくも充実した日々を送っています。同期や先輩と切磋琢磨しつつもアットホームな雰囲気の中で研修を行うことができます。

### ■宮部 沙織 研修医(2年次)

当院では幅広い症例を経験でき、ファーストタッチから入院、退院や転院の方針まで一連の流れを学ぶことができます。また、毎回の勉強会に参加しています。また、病院内の雰囲気が温かく働きやすい環境です。

### ■山田 純也 研修医(2年次)

どの科の先生も優しく、非常に教育熱心で、温かく指導してくださっています。また、研修2年目は自分の希望の科を回ることができ、自分の目標に合わせた研修を行うことができます。

### ■萬家 愛賀 研修医(2年次)

指導医・上級医の先生方や同期など周囲の人々に支えられ充実した日々を送っています。定期的な勉強会では指導医に指導していただくだけでなく、研修医同士で疑問点を共有し、新しい視点で考えることができます。

### ■井村 優 研修医(1年次)

当院では主体性が重んじられており、必要な検査や治療等を自分で考えて提案し、その後適切なフィードバックをいただいています。研修医の勉強会にも上級医に参加していただいております。助言等を聞くことができます。

### ■岡宮 礼於 研修医(1年次)

働き始めたころは不安で一杯でしたが、同期や先輩、指導医、コメディカルの方々に支えていただき充実した生活を送っています。皆さんとても優しく、様々なことを教えてください。とても勉強になります。

### ■上窪 優介 研修医(1年次)

当院では病棟業務や救急外来での初期対応など、幅広く業務に関わることができます。勉強会として研修医間で知識を共有し、先生方のアドバイスを頂ける機会も多く、日々の勉強にとっても役に立っています。

### ■玉井 葉奈 研修医(1年次)

当院での研修は、自分で考えながら動くことや手技の機会も充実しています。救急ではその場の対応だけでなく、治療方針についても学ぶことができます。また、病院全体で研修医を温かく指導してくださっています。

### ■永井 健太郎 研修医(1年次)

当初は右も左も分からない状態でしたが、丁寧に指導していただけたので、安心してスタートを切ることができました。救急は上級医の先生と対応を行うため、質問のしやすい環境で、とても勉強になります。

### ■藤尾 公貴 研修医(1年次)

右も左も分からない状態からのスタートでしたが、様々な人に支えられて、日々業務に慣れていっています。また、これまでにたくさんの救急症例を経験させていただき、大変勉強になっています。

### ■村田 眞悠 研修医(1年次)

環境に慣れることに精一杯の日々ですが、周囲の人々と相談したり、上級医にアドバイスをいただいたりして、充実した日々を過ごしています。研修医室には電子カルテ等の環境も整っており、非常にありがたいです。

「今後ともよろしくお願いいたします！」



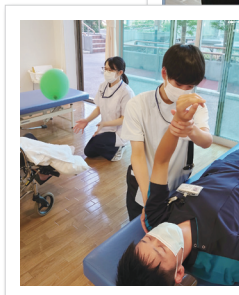
## 学生実習レポート リハビリテーション科

わかみや りく  
若宮 里空さん 河原医療大学校 作業療法学科 4年

実習当初、慣れない環境や分からないことが多く受け身になることがありました。指導者の先生はじめ、他の先生方にご指導いただき有意義な日々を送ることができました。実際に臨床現場を見学する中で、患者さまとの接し方、充実したリハビリ提供など多くのことを学ぶことができました。患者さまに寄り添うことで信頼関係を築き上げる姿勢はとても魅力的だと感じました。またリハビリ見学だけでなく作業療法士としての業務内容について学ぶ機会もあり実習だからこそその経験をさせていただきました。今回の貴重な経験、学んだことを無駄にせず、良き作業療法士になれるよう日々精進していきたいです。

おぞき あやみ  
尾崎 彩珠さん 愛媛十全医療学院 理学療法学科 3年

初めての学外での実習で戸惑うこともありましたが、温かいご指導をいただき7週間の評価実習を終えることが出来ました。実際に臨床現場で患者さまに触れ、貴重な経験をさせていただきました。訓練や治療を通して、沢山の患者様の笑顔を見ることができました。また、リハビリでは患者さまとの関わる時間が長く、一番近くで患者さまが日々良くなる姿を見ることができました。そして共に成長することができたと思います。今後の実習先でも頑張りたいと思います。お忙しい中ご指導いただきありがとうございました。



### ～ 鯛を食べよう! ～

#### 真鯛のニラソースかけ

材料(2人分)

鯛(切身) ……………2切れ  
塩・こしょう ……………少々  
キャノーラ油 ……………大さじ1  
ニラ ……………20g  
大葉 ……………2枚  
生姜 ……………0.5g  
キャノーラ油 ……………大さじ1・1/2  
酢 ……………大さじ1・1/2  
A 濃口醤油 ……………大さじ1  
白ゴマ ……………少々  
レモン ……………お好み



宇和島は真鯛の養殖生産量が日本一です！刺身や切身で販売されており、手に取りやすい魚の1つではないでしょうか。

暑い夏、ニラと大葉などの香味野菜を使ったソースでさっぱりと食べられるレシピです。ニラには、βカロテン、ビタミンE、独特の匂いの元であるアリシンが豊富です。ビタミンEは強力な抗酸化作用があり、アリシンはビタミンB1と結合して疲労回復をサポートします。

地産地消のためにも、煮付けなど定番料理とは違ったアレンジをして鯛食べてみてはいかがでしょうか。

#### 【1人分の栄養量】

エネルギー 247kcal たんぱく質 13.6g 塩分相当量 1.5g

- ① 鯛は両面に塩・こしょうを下味をつける。
- ② フライパンにキャノーラ油大さじ1を中火で熱し、①の鯛を皮目から入れて両面に焼き色が付くまで焼く。
- ③ ニラ、大葉、生姜を細かく刻み耐熱容器に入れ、フライパンで熱したキャノーラ油を注ぎ、全体を混ぜる。
- ④ ③にAを加えて混ぜ合わせる。
- ⑤ 器に②の鯛を盛り、④のニラソースをかけてお好みでレモンを添える。

＼ポイント／ 熱した油を入れることで、ニラが鮮やかな色に♪

## 宇和島市病院局で働きたい方の「奨学金」の貸与・返還支援制度

将来、宇和島市病院局の看護師、助産師、薬剤師として勤務を希望する方をサポートする制度です。ご希望される方は下記までお問い合わせください。

### 1 看護学生等奨学資金貸与制度



QRコードを読み込むとHPが見られます。

### 2 薬剤師奨学金返還支援制度



QRコードを読み込むとHPが見られます。

お問い合わせ先

宇和島市病院局 経営企画課（市立宇和島病院 総務管理課内）TEL：0895-25-1111 E-mail：uwajima-hp@city.uwajima.lg.jp